

「未来の学術振興構想」の改訂に向けた 天文関係者向けオンライン説明会

1. 未来の学術振興構想(改訂版)「学術の中長期研究戦略」の公募
<https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kenkyukeikaku/26koubo.html>
2. 未来の学術振興構想(改訂版)と天文学・宇宙物理学分科会での将来計画
検討について(天文学・宇宙物理学分科会より)
3. IAU分科会報告
4. 質疑応答

現在国会で審議の「日本学術会議法」は27期（2026年10月～）から施行されるものであり、
26期内に実施される「未来の学術振興構想」改訂が法案に影響されることはありません。

2025年5月27日
日本学術会議 物理学委員会
天文学・宇宙物理学分科会／IAU分科会

1. 未来の学術振興構想（改訂版）「学術の中長期研究戦略」の公募

—「未来の学術振興構想」とその改訂とは

「未来の学術振興構想」は、我が国の大型研究計画のあり方に一定の指針を与えてきたマスタープランに代わり、以下の方針で学術会議25期の提言として2023年9月に発出された。

＊「中長期的視点と俯瞰的視野と分野横断的な検討」により、我が国の科学者コミュニティとしての考え方を取りまとめて明らかにする。

＊ 今後20～30年頃まで先を見通した学術振興の19の「グランドビジョン」を提示。

＊ それぞれの「グランドビジョン」について、その実現の観点から必要となる「学術の中長期研究戦略」（今後20～30年頃まで先を見通した学術振興の「ビジョン」とその実現に必要な「学術研究構想」）を示した。

＊ 19の「グランドビジョン」は、多様な科学者コミュニティから提案された将来振興すべき学術の「ビジョン」を取りまとめたものであり、社会からの要請を念頭に科学者の自由な発想に基づいていることが大きな特徴の一つであり、かつ、重要な点である。

<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/kohyo-25-t353-3.html>

＊ 前期の提言の発出から間もないことから26期は大幅な見直しはせず、19の「グランドビジョン」の実現及びより一層の充実のために必要な「学術の中長期研究戦略」を追加募集するとともに、「未来の学術振興構想」に掲載した「学術の中長期研究戦略」の「学術研究構想」の進展等に伴う改訂を実施。

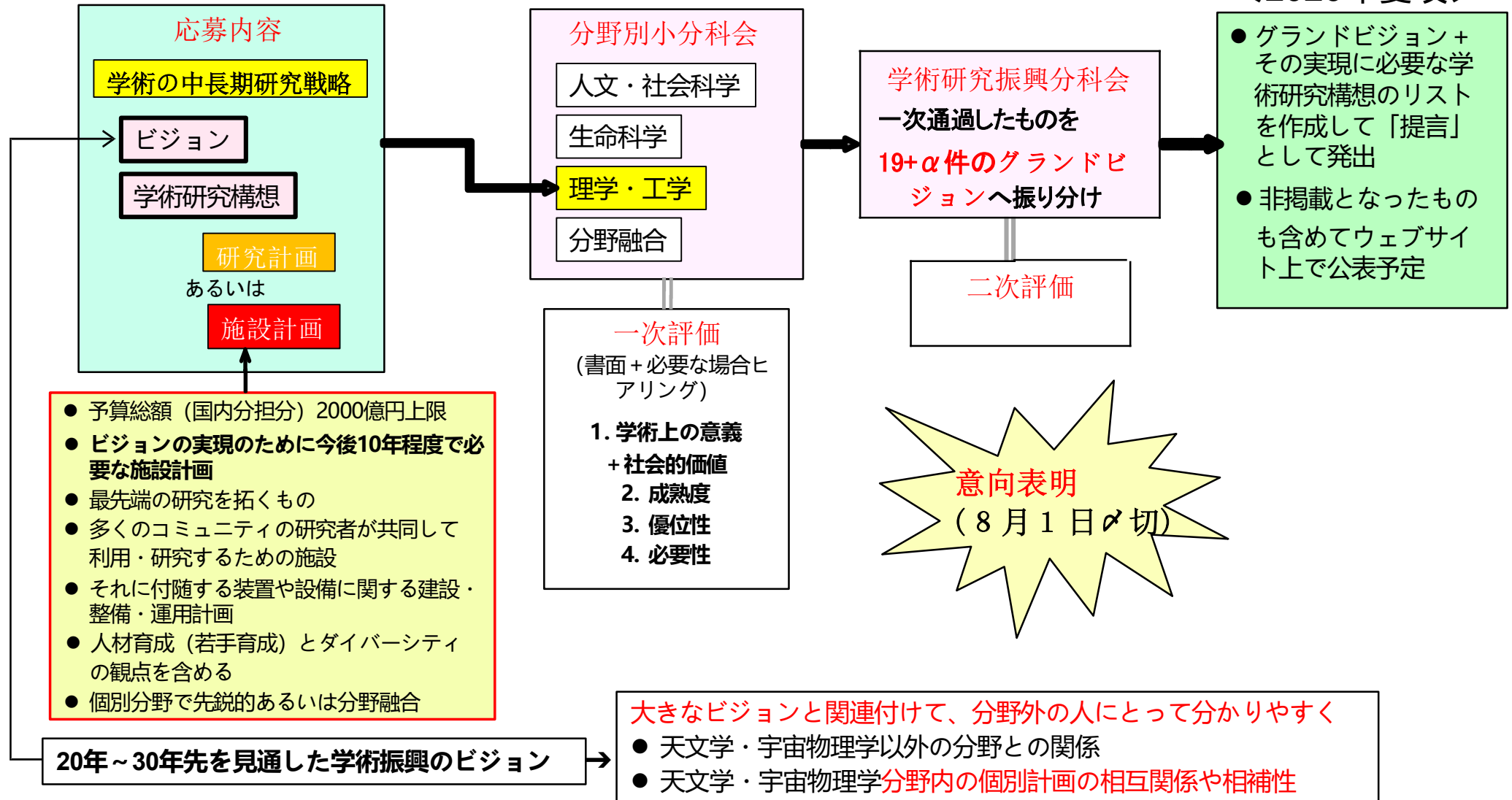
（改訂方針 1. 背景と目的 より）

1. 未来の学術振興構想(改訂版)「学術の中長期研究戦略」の公募 —「未来の学術振興構想(改訂版)」策定プロセス

(改訂方針 3. 1)改訂プロセス 2)公募 3)「学術の中長期研究戦略」の改訂 より)

＜応募期間：2025年4月1日～10月1日＞

＜2026年夏頃＞



区分Ⅰ（追加募集）と区分Ⅱ（既に掲載「中長期研究戦略」の改訂）があり！

1. 未来の学術振興構想(改訂版)「学術の中長期研究戦略」の公募

—「公募要領」より抜粋

◆ 3. 公募等の対象

- 区分Ⅰ(追加募集)・・・**新規提案**。関連するグランドビジョン、キーワードを挙げる。
(新グランドビジョンの提案は排除しないが判断は学術研究振興分科会で行う。)
- 区分Ⅱ(既に掲載「中長期研究戦略」の改訂)
・・・**研究の進捗、国内外の動向や他の研究戦略との関係、グランドビジョン内での位置付け、などの再考・改訂を期待**。
(前回の事務連絡者には、改訂の連絡が送られているはず。)

◆ 4. 提案者

- (i) 研究・教育機関の長又は部局長、(ii) 学協会長(日本学術会議が指定する「協力学術研究団体」)、(iii) 日本学術会議の会員及び連携会員、(iv) 若手研究者
- 区分Ⅰについては、**区分Ⅱの提案数に関わらず**、提案者(i)及び(ii)は最大3件まで、提案者(iii)及び(iv)は1件のみ提案。応募区分Ⅱの提案者は、「未来の学術振興構想」の既提案者とする(ただし、人事異動等に伴う提案者の変更は可)。

◆ 意向表明のお願い

- 区分Ⅰは推奨、区分Ⅱは表明あるいは8/1までの応募が必須。

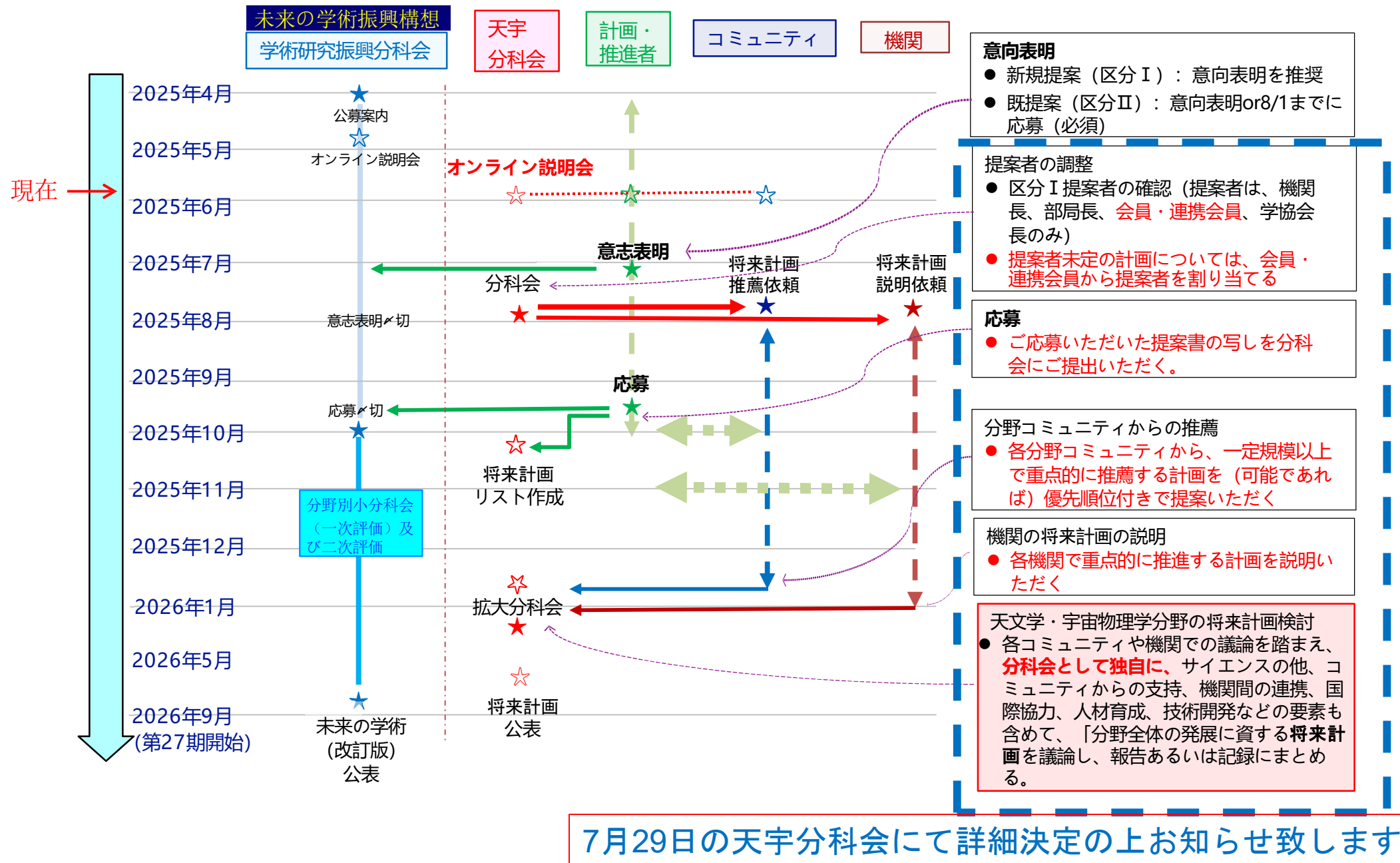
2. 未来の学術振興構想(改訂版)と天文学・宇宙物理学分科会での将来計画検討について

ー26期天文学・宇宙物理学分科会における 将来計画検討へのご協力のお願い

●天文学・宇宙物理学分科会では、26期未来の学術振興構想にご応募いただいた将来計画と各コミュニティや機関での議論を踏まえ、**分科会として独自に**、天文学・宇宙物理学を俯瞰した観点で「分野全体の発展に資する将来計画」を議論致します(2026年1月の予定)。

- ✓ その議論に向けて、将来計画を推進する皆様、コミュニティ代表者の皆様、機関代表者の皆様に、将来計画及びその検討(推薦)結果の分科会へのインプットのご協力をお願いする予定です。(次ページの図参照)
- ✓ つきましては、天文学・宇宙物理学の将来計画を推進する皆様におかれましては、**26期未来の学術振興構想にご応募**いただき、ご応募いただいた**提案書の写しを分科会にご提出**お願い致します。(7月の分科会で詳細決定し、提出先をお知らせ致します。)

「未来の学術振興構想(改訂版)」と分科会での 将来計画検討に向けた流れ (案)



「未来の学術振興構想(2023年版)」のグランドビジョン一覧

<https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kenkyukeikaku/kousou23.html>

- ① 言語・コミュニケーション研究の充実を踏まえた現代社会問題のデータ解析による解決策の提示
- ② 長い時間軸・大きな空間軸・多様な視点からのヒトと社会の科学
- ③ 日本史学を含めた非西洋史学の再構築と国際協働
- ④ 地球の生命環境と食料供給を持続させるための学術創生
- ⑤ 生命現象の包括的理解による真のWell-beingの創出
- ⑥ ビッグデータ駆動による生命科学の新たな発展
- ⑦ ヒトの知性を知る、創る、活かすための学術の創生
- ⑧ 超スマート社会における人の能力拡張とAIとの共生
- ⑨ サイバー空間の構築・活用による価値創造
- ⑩ データ基盤と利活用による学術界の再構築
- ⑪ 数学・数理学・量子情報科学が切り拓く未来社会
- ⑫ 観測技術革新による地球システムの理解と地球変動予測への展開
- ⑬ 地球規模の環境危機にレジリエントな持続的社会的構築
- ⑭ エネルギーと環境の両立的課題解決
- ⑮ 持続可能社会に資する革新的な物質・材料の開拓
- ⑯ 量子ビームを用いた極限世界の解明と人類社会への貢献
- ⑰ 太陽系探査の推進と人類のフロンティア拡大
- ⑱ 宇宙における天体と生命の誕生・共進化の解明
- ⑲ 自然界の基本法則と宇宙・物質の起源の探求

⑪ 太陽系探査の推進と人類のフロンティア拡大

No.	学術の中長期研究戦略の名称
149	国際宇宙探査と連携した戦略的火星探査
150	惑星探査コンソーシアム
151	次期太陽観測衛星計画:SOLAR-C(高感度太陽紫外線分光観測衛星)
152	長期有人宇宙活動を支える宇宙生命科学研究の基盤整備
153	人類のフロンティア拡大を牽引するシームレスな宇宙輸送ネットワークの実現
154	太陽X線・ガンマ線観測衛星 PhoENiX
155	月での持続可能な社会の構築を目指した「アカデミック・ハブ」構想による分野横断的な学術の振興

—天文学・宇宙物理学の2030～2040年代のビジョン(天文学・宇宙物理学分科会の25期まとめ)

: <https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kiroku/3-20230801.pdf>

として掲載された、天文学・宇宙物理学分野の中長期研究戦略を青色で示す

⑱ 宇宙における天体と生命の誕生・共進化の解明

No. 学術の中長期研究戦略の名称

- 156 宇宙望遠鏡JASMINEによる近赤外時系列位置・測光天文学で拓く天の川銀河と系外惑星の探究
- 157 惑星科学、生命圏科学、および天文学に向けた紫外線宇宙望遠鏡計画 (LAPYUTA)
- 158 国際電波望遠鏡計画SKA1による現代天文学の開拓
- 159 惑星間宇宙望遠鏡による新時代のダストフリー天文学の創成
- 160 CTA国際宇宙ガンマ線天文台
- 161 30m光学赤外線望遠鏡TMTによる天文学・宇宙物理学の革新と太陽系外惑星における生命の探求
- 162 南天におけるPeV領域ガンマ線広視野連続観測 (Mega ALPACA)
- 163 NASA 6m紫外線可視近赤外線望遠鏡Habitable Worlds Observatoryへの参加
- 164 POEMMA 超高エネルギー粒子(ν ・宇宙線)の衛星軌道からのステレオ観測
- 165 多波長・マルチメッセンジャー観測による初期宇宙探査・極限時空探査
- 166 南極テラヘルツ望遠鏡による南極天文学の開拓と銀河進化の解明及び宇宙論パラメータの決定
- 167 極高エネルギー宇宙線国際共同観測実験(Global Cosmic ray Observatory, GCOS)による次世代天文学の開拓と極限宇宙物理現象の解明
- 168 赤外線観測用冷却宇宙望遠鏡で革新する銀河と惑星の起源の研究
- 169 大型国際 X 線天文台 Athena への日本の参加
- 170 広帯域X線高感度撮像分光衛星FORCE
- 171 次世代大型電波干渉計ngVLAでもたらず宇宙史と生命の理解の新機軸
- 172 大型サブミリ波望遠鏡LST計画の実現に基づくサブミリ波帯多次元掃天天文学の創出

①9 自然界の基本法則と宇宙・物質の起源の探求

No.	学術の中長期研究戦略の名称
136	J-PARCでの高強度重イオンビームによる超高密度物質の研究(再掲)
148	大強度高品質ミュー粒子ビームによる宇宙の起源の解明と新しい科学分野の開拓(再掲)
173	IceCube-Gen2 国際ニュートリノ天文台によるニュートリノ天文学の長期的展開
174	高エネルギー加速器による素粒子原子核物理学の研究
175	チリ・アタカマ高地からのCMB観測 - Simons Observatoryおよび次世代望遠鏡群
176	素粒子標準模型を超える新物理に向けたFASER実験とFPF計画の推進
177	大型液体キセノンを用いた宇宙暗黒物質直接検出実験(DARWIN/XLZD実験計画の推進)
178	カムランド高性能化による極低放射能環境でのニュートリノ研究
179	国際高エネルギー量子科学フロンティア:海外施設で展開するQCD研究
180	基礎科学と量子技術の協働で開拓する量子と重力の未踏領域
181	大型先端検出器による核子崩壊・ニュートリノ振動実験(ハイパーカミオカンデ計画の推進)
182	LiteBIRD — 熱いビッグバン以前の宇宙を探索する宇宙マイクロ波背景放射偏光観測衛星
183	大型低温重力波望遠鏡 KAGRA 計画 (略称: KAGRA)
184	宇宙重力波望遠鏡B-DECIGOによる天文学・宇宙物理学の新展開

未来の学術振興構想(改訂版)「学術の中長期研究戦略」の公募について Q&A

オンライン説明会後にいただいた質問について、学術会議事務局より回答を得ましたので資料に以下追加します。

＜Q＞区分Ⅱの意向表明は「提案者」となっていますが、機関の長などの「既提案者」が入力しなければならないのでしょうか？

＜A＞意向表明に係る様式への入力に関しましては、ご提案者様の了解が取れている前提にはなりますが、連絡ご担当者様をはじめ、他の方からご入力いただいても構いません。